



「経験」を超える「想像力」を働かせよう～2学期に期待すること～

今年の夏は、全国各地で「経験したことがない暑さ」や「経験したことがない大雨」が続出しました。これが、異常気象なのか、それとも地球の温暖化等による環境の変化なのか、はっきりとしたことは分かりません。しかし、このように厳しくなっていく環境の中で、自分の命をどう守っていくのかを真剣に考えなければならないときがきていることに間違いありません。

戦争のない平和な時代に育ち、幸いなことにここ数十年、わたしたちの住む地域では震度6以上の大きな地震を経験していません。わたしたちは経験から多くのことを学んできました。けれども「経験したことがない」ことには、どう対応していったらよいのでしょうか。

一言で言えば、想像力を働かせるということだと思います。想像力を働かせることは、それまでの経験を超えるものを生み出す原動力になります。この「経験したことがない」ことに対応する力こそ、これからの教育に求められているものであり、子どもたちに身につけてほしいと願う「生きてはたらく学力」です。

例えば、情報通信技術が発達した現代では、過去や他の地域で起こった災害の映像や記録が簡単に手に入ります。情報を的確に扱う力は必要になりますが、得られた情報をもとに想像力をはたらかせることで、その場に応じた適切な判断や行動をとることができるようになります。実は、毎時間の授業で学んでいる知識や技能、考え方などは、すべてこのことに通じているのです。

さて、2学期は、葵流祭（体育の部9/15、文化の部10/5）や天城学習発表会（12/8）などがあります。ここでも「経験を超える想像力」を働かせ、新しい取り組みにチャレンジしてほしいと思います。

今年の葵流祭スローガンは、「天中魂～無限大の力～」（1年鈴木愛和さんの案）に決まりました。まさにぴったりのスローガンだと思います。去年までのやり方や経験だけを頼りにせず、無限の力を信じて前進することが、天城中生としてふさわしい姿だと思います。中学校では、生徒が自分たちの手で学校祭を創り上げるところに大きな魅力があります。一人ひとりのアイデアを大切にしながら、話し合いや試行を重ね、自分たちの納得のいく葵流祭を創り上げることで、参加する人たちはもちろんのこと、見る人たちを感動させてほしいと思います。3年生には、その中心として活躍することを期待します。最高の思い出にするにはどうしたらよいかを常に考えてください。1, 2年生は、3年生についていくだけではなく、自分たちが中心だったらどうするかと想像しながら取り組んでください。仲間同士、目標に向かって力を合わせ、体育の部では学年を超えた縦の絆が、文化の部では合唱を通して横（クラス）の絆が深まることも期待しています。

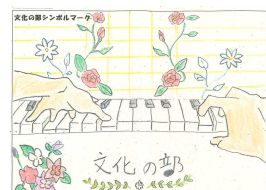
行事のあとの学校生活も大切です。1年後の自分を想像しながら、イメージをふくらめてみましょう。1年生は中学校生活にも慣れ、学習や部活動に思い切り取り組める時期です。先輩や先生方に指示されなくても行動できる、そんな自主性を身につけてください。

2年生は部活動の中心になるので、新人戦や夏の中体連での目標をしっかりと立てて練習に臨んでください。また、11月からは生徒会活動でも学校の中心です。人数は少ないですが、チームワークは抜群な2年生。よりよい学校をつくっていくためにはどんな工夫や取り組みが必要か、そんな議論をクラスから全校に広げてほしいと思います。

3年生は、自分で決めたスタートラインをどんなふう走り出していくか、具体的にはどんな高校生活にしていくかを想像しましょう。現時点では、将来なりたいたいものが見つかっていなくてもかまいません。そのために今、どんな力をつけていかなければならないのかをしっかりと考えていくことが大切です。課題は一人ひとり違うはずです。



体育の部 3年山本翔輝さん



文化の部 3年齋藤杏実さん

スマホやケータイを正しく使おう

データから見る天中生の姿

グラフの表記について H30 本校 中1
(調査年度) (学年)

1学期末に生活アンケートを行いました。今回はスマホやケータイの使用実態が示すデータから、スマホやケータイの正しい使い方について、いっしょに考えていきましょう。

右のグラフが示すように、本校生徒のスマホやケータイ「保有率」はどの学年も60%を超えています。「使用目的」を見ると、家族との連絡は全体の4分の1程度で、友人との連絡やインターネットを介してのメールやゲーム、LINEなどのソーシャルネットワークサービスに利用されていることがわかります。

交通等が不便であるとか、公衆電話がないために連絡手段として持たせているはずのスマホやケータイも、多機能で便利であるが故に他の目的で使用されることが多くなっています。これは、大人でも同じだと思います。

しかし、ここで問題になるのは、1日のうちの使用時間です。「通信機器（PCもふくむ）1日に何時間やるか」という調査では、2、3年生で70%以上の生徒が1時間以上使用しているという回答でした。

家庭学習との関連を見ると、通信機器に没頭する時間が長い生徒ほど、家庭での学習に集中できていないという別の統計もあります。（今回の調査では、関連性は調べてありません）

生徒の自主性を育てる意味でも、単純に使用禁止とするのは、適切だとは思いません。夜9時以降は使用しないとか、ゲームは30分までというルールを本人に決めさせ、実行できるように励ましていくことが大切だと思います。

もう一つ、気になるデータがあります。それは、通信機器に「フィルタリング」をかけているとの回答が少ないことです。生徒への質問なので、わからないという回答も多かったのですが、購入しているのは保護者です。経験の浅い中学生が、悪質なサイトへ引き込まれないよう守ってあげることも、親の役目ではないでしょうか。また、みんなが持っているからと、安易に買い与えるのはどうかと思います。

最後に、スマホやケータイ所有者の80%程度は、メールやLINEなどを使用しています。友達の悪口を書いたり書かれたりといった問題も、後を絶ちません。誤った使い方はもちろん正さなければなりません。子どものちょっとした変化に気づき、いつでも相談できる親子関係をつくるのが大切です。

